

この交渉は森を依頼してお願いする。進行せず現在に至るまで皆様の
の御指図を仰ぎたい。

議長 図面をきいて説明

森 謝 図面を説明

川 窪 八月の協議会の席で図面上に於ては二曲はありますがこれは既承知事と思っておりますが何
故か今更に曲つたかそれは一部接收地の関係で多少は曲るとは思いますがこれ程
曲るとは思ふことが出来た。仕事は進めることは非常の協議会に進行
委員会も責任があるを過し進行委員会も用催しなにか真直の道路
に於てと協議し、此加藤氏の住宅を移転して頂くこと、関氏及び森田幸
員の畑にかゝる事を確認して頂く。森と交渉し、不認識とすつてしまふ。現在
に於て

森 誠 新しく土地を買収するのと現在の家屋を移転させるのとどちらが経費がかかるか。

川 窪 十坪位の家であるから、補償料は新に買収するよりは少額ですむと

思ふ

田村 福 多少の金額の差であるが真直にしようと思ふ。

森 幸 お個人としても関係あることですが情実にとらわれることなく、実の議

て頂きたい。

議長 将来の土地を考えて多少の犠牲は止むを得ずお出し、各段におかれて

はどうか御骨折をお願い。

貫 井 此の道路の設置の動機と進めるに俱に交通上の支障を未然に防止することが

最も真直にしよう。加藤、関氏にも証をとり、頂く。補各段の御力添えと

要望す。

町 長 此の道路の測量は、今立會うた事は、何当局としても深く御詫言申

上、今も、実際現地に調査するに非常の五、六の交通の不便あり、今

一めるで多少の苦難はあると思ふが、せめて、一にか、真直にしよう。頂きたい。

どうして曲る道路の、補償料を、お拂うたか？

森 誠

議
長
比處で議論しては
おろからう現地調査
しようか。

全員現地調査す。

議 長
加園氏の豪屋と云は依
移転させて其直ぐにしなうか、それの接渉は

当局と地元議員に一任し、
その旨と方針は異議なく決定す

午後四時現地に於て解散す。

日時 昭和二十二年七月 午前九時四五分開會 第一會議室

大席議員
加藤市義
平井初五郎
並木竹松
田村幾太郎

横田素照 天野由三 田村信 高橋三郎

高橋由堯
村尾昌三
高水彦太郎
設樂美知

田村福一田村亨一森田誠重
田村崇吉

村野岳平 井上岩次郎 貫井伊作 磯村武夫

田
利
利

所長
内田書記
高永書記

議長
昨夜の火災の件につき
そのとり
報告があります。

一町長
昨晚は境内から虫火と油の火
誤りませんでした

燒失し、茅屋は農協の分が三四坪、食糧予ふ所の分が七坪五合であり、斧見澤延るもの被害の概ね出来ず。農地委員会より所は書類その他一切撤出し損害とし、しては役所側には建物の元の内型板三〇七一円位、失業者の使用しと異なりヤカー四台を、その他つとは手でも七万円位で損害總額は約十五万円程度を見られ。

夏兵者四三層架亦在四名城

二に
一は
増し
減り
なり
す。

町副

保險加入金額

坪
當
一
田見當

吟
長

議長

役方構内他の所屬事務があることは不当に迷惑を與へてゐる。なま／＼この度の事件でそれ

町村
(副)

竟見がな、隔たから
ひたひたの、その
隔に對する、い

第分田で消防ホフ購入に三万四千八百五十九圓ねん

分田のふは二、三年のうちに使用したえをかつたが経費の点でそのはふとふふふ
 かつたが部差では四、五、丁田は目掛とくなくわえその上でやと接保しようとし
 へふかいふふふも使用も束そうなり河掛の達成ふものて

一、^カイ、^ロン、^プも使用を棄てたり、河掛の達成を棄てたり。

はさる内いふこともあつたが、関係方面へ役員が行き、
なほ、日中工業の自動車が一三ノ内後である。この話と、
結果、何程か経費をわんを上げ、は陳情するが、と道、町当局
に、町長に、次第で、何年か、敷入と、未得、協賛協力、
たい。

町長

昭和五年度の予算に於ては、いふこともあつたが、
すうと、と、学校建築費の削減と、ななければならぬ。昭和五
年度、予算でも、あつた、税収入と、な、金、を、困難、
田村副

田村副

購入資金の、附金額は、本町で、購入、比率、の上で、見、
ヨ、い

平井

本町で、購入する、時、あ、時、い、現、予算、では、支出、でき、
で、来、年度、と、い、二、等、借入金、と、い、い、
高角

高角

本町で、約半額、負担、を、本町、と、カ、分、同、な、財政、的、及、地域、
に、異、つ、二、分、団、では、五、分、内、後、の、附、と、あ、な、な、な、
に、異、つ、二、分、団、では、五、分、内、後、の、附、と、あ、な、な、な、

に、町、長、に、い、

設

内、田、主、

費、井、

議、長、

議、長、

議、長、

議、長、

議、長、

議、長、

議、長、

議、長、

三、六、年、度、の、予算、の見、送、は、
三、六、年、度、の、予算、に、於、て、購入、の、費用、を、け、と、特別、増、額、する、
が、消防、費、を、節約、し、て、購入、に、あ、つ、れば、な、い、か、
現在、の、予算、台、数、中、一、台、でも、使用、出来、る、な、る、場合、に、は、な、い、か、購入、し、
町、民、の、財産、を、保護、し、て、頂、きたい、本、町、と、カ、分、同、を、は、地、域、的、な、異、な、る、
本、町、の、み、に、あ、つ、た、が、な、い、か、な、い、か、な、い、か、な、い、か、な、い、か、
この、邊、で、購入、する、か、い、う、か、と、決、め、て、頂、きたい、
何、ん、な、購入、し、て、頂、きたい、と、い、う、事、
来、年、度、の、消防、費、の、予算、で、消防、団、と、相談、し、い、の、後、節約、出来、る、か、
によ、つ、て、購入、し、て、頂、きたい、早、急、に、購入、し、て、頂、きたい、
後、で、購入、し、て、頂、きたい、と、い、う、事、
連絡、員、の、一、人、に、對、し、町、長、に、い、う、事、
異、議、を、し、り、な、る、

離
 蘇
 三
 下
 尔
 蚤
 卓
 雄
 小
 杯
 春
 一
 野
 崎
 賢
 次
 守

原島卓雄氏

昨夜はとんがよりまゝを渡
終員
同代表として

議
長

町の建物は十坪、総額一
 坪は農協が主であり、そ
 うりの形は、

以上を以て開会致す。
(十時至分)

主席議員

加藤常素
平井初五郎
並木竹松
兒島信一
横田壽照
天野由三

田村信高橋角差村尾昌三
高水卷了
設樂美知
田村福一

高橋三平
田村亨一
木村田幸義
木村田幸重
羽村栄吉
村野克平

井上領下
貫井作
磯村武夫
田村利一

町長
齋藤助俊
川窪助俊
内田圭子
貫井書記
三永書記

一町長 萬分田のホラ 購入して冬 耐愛領 領が代表者 森田広助氏の名を以て提出されしと

陳清書朗讀
過省防田で協議の結果田を挙げて他の経に主節約して新車購入に協力

するに意見が一致した。現在の処材価の値をにつき二月十五日迄に予約すれば一三三万円で

借入出来るようである。つとには現予昇では如何とも出来るので、一応部倉で資金と借入

し三々年度の算に於てこれを経済的といふ。火災火期にもあつて至急購入出来る。

務協計願

二
三
不
可
角

先日の協議会の時、消費財費相互の経費を節約すれば、購入に於てあうところをそのほかに消

防田員との相談の結果は。

三内田幸一

消防団員の話しでは皆さういふ賛成してくれたやうであるが本気で購入した条件で購入したういふと云ふのである。

四 磯 村

以上の話しを他の村でも積極的な協力してくれると云ふのは何んとか購入して頂きたい

五 議 長

それでは一三三万四千支出すことに決定致す。

一 村 野

おのづから購入を決議する決定をみたが振興委員として認可の道路の件につきその分も協力願ひたい。

二 議 長

何卒宜敷に協力願ひます。

一 町 長

簡易火險の融資については加入者の署名捺印を必要とするがこれに過日連絡員と協議したがいふことは賛成であるが、建築については町の職工組合にさせて頂きたい旨陳情があることを承諾して頂ければ、早速連絡員も協力すると云ふを案であった。

二 議 長

又町議会と連絡員と一応懇談会を開いて頂きたいとの申し入れがあった。

一 町建設委員と懇談会を開くことに決定する。

一 議 長

二百八 田村利 設楽議員 川窪町役 議長 四名で永田橋架設につき陳情を町庁方面に行き報告して終了。

由 會 午後六時

夏夏都西之鳳君前之四行場

所長名

茅五十年伐連
級委員定

諸工代表の折会について

一、協一、古、廿三、十、片、找、建、第、工、事、に、つ、て

諸取工并合以表之事情聽取帝以打合取之

二月十六日
 午後
 八時
 八時

品
 若
 新
 工
 山
 七
 表
 の
 丁
 は
 千
 文
 二
 十
 兩
 の
 定
 下
 〃

加
 時
 中
 事
 打
 合
 取
 す
 も
 う
 に
 多
 申
 出
 つ
 三

昭和 年 月 日決裁
昭和 年 月 日発行
淨 寫

校
合

係員

係員

9
に
つ
て

打合致

時
所
已
也

娘の不定
あふ

山序
德次新

戲

六、五、四、三、二、一

Ph. n. v. 116

牙

7-1-2

三

三

東京部西多摩部富士丁爰易

